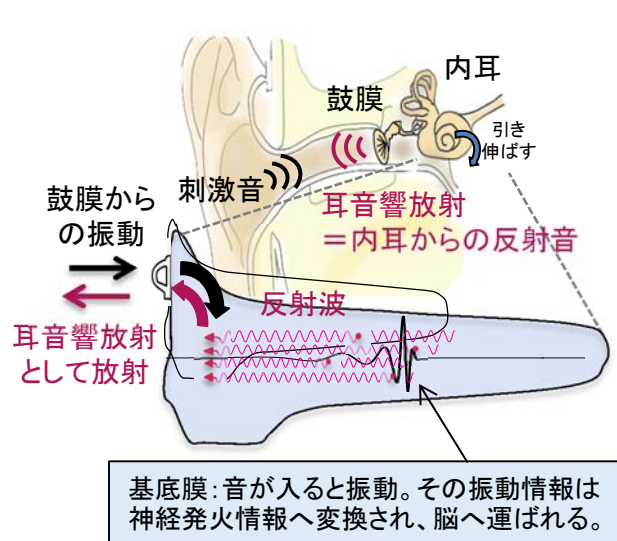


概要

耳は、音を増幅するアンプのような役割を果たしています。私たちは、耳から出てくる音（耳音響放射）を使って、そのアンプの特性を調べてきました。その中で、耳は、音の強さの情報を神経発火のタイミングの情報に変換して、脳に伝達することが分かりました。これまで、音の強さは神経発火の反応強度の情報として脳に伝達されていると信じられてきました。本研究の結果は、どのように音の大きさを知覚するか？という疑問に新しい知見をもたらします。



[従来の考え方] 音の強さの変化は、神経発火の**反応強度の変化**として脳に伝達される
 [本研究] 音の強さの変化は、神経発火の**タイミングの変化**としても脳に伝達される

